



波佐見10

OCTOBER

2000 No.452

「活力と潤いにみちた陶磁と緑のまち・波佐見」をめざして



(三股青磁窯跡と三股青磁)

国指定の文化財誕生

特集



国指定史跡に決定	2 ~ 3		
財政構造改善計画	4 ~ 5	イベント情報	12 ~ 13
学校紹介・花壇コンクール	6 ~ 7	暮らしの情報	14 ~ 15
みんなの広場	8 ~ 9	教育委員選任	16
病気一口メモ	10	窓（善意の窓・戸籍の窓）	17
スポーツ	11	暮らしのカレンダー	18

国指定史跡に正式決定 「肥前波佐見陶磁器窯跡」

16世紀末から始まつたとされる波佐見焼の歴史は、今日まで町内に点在する窯跡の発掘調査などで、次第にその内容が明らかにされきてきましたが、本年9月6日付けで「肥前波佐見陶磁器窯跡」が正式に国指定の史跡に決定しました。

○経過

町内には、江戸時代から昭和時代にかけて使用されていた古窯跡が36基ほどあります。いずれも4百年に及ぶ波佐見焼の歴史を築き上げてきた、いわば波佐見焼の「履歴書」ともいえる重要なものです。

古窯跡は、その役目を終えた後、山あいにひつそりと埋もれていましたが、幸いにも良好な保存状態で残されてきました。

町教育委員会では、国・県の支援をうけ平成2年度から発掘調査を行い、また、専門職の学芸員を配置することで、埋もれていた吉窯跡に再び光を当て、窯の構造や生み出されたやきものの特徴を明らかにしてきました。

その結果、世界最大規模の中尾上登窯跡をはじめ、波佐見の古窯業の歴史にとつて非常に価値があることがわかつてきました。国・県との協議の上、数多い古

5月19日に国の文化財保護審議会による文部大臣への答申、9月6日には史跡に指定する官報告示（文部省告示第143号）がなされ、ここに「国指定史跡肥前波佐見陶磁器窯跡」が誕生しました。

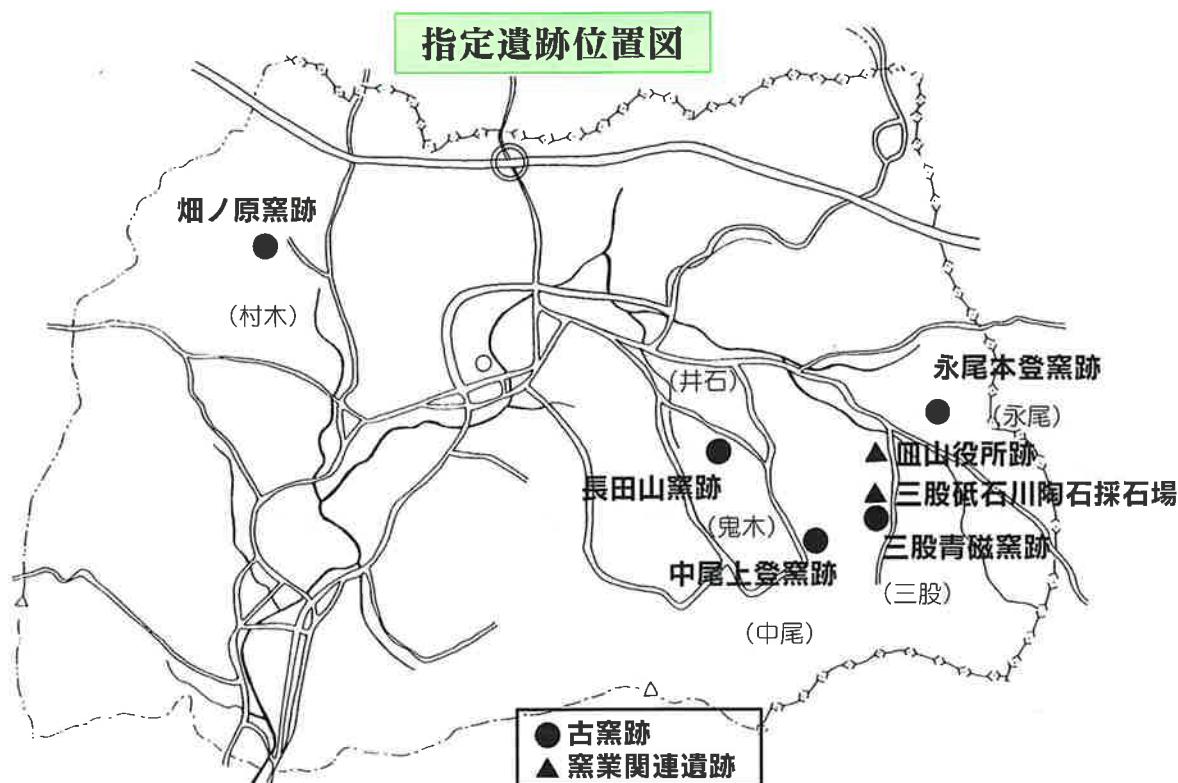
郡内では初めて、長崎県内では壱岐の「原の辻遺跡」に次いで24番目、全国の江戸時代の窯跡としては6番目の指定となります。

○特徴

肥前波佐見陶磁器窯跡の最大の特徴は、江戸時代以降の波佐見焼の歴史を地区毎に一覧できる点、さらに、古窯跡だけではなく、窯業に関連する遺跡（皿山役所跡・陶石場）を含めたことによつて、波佐見窯業の歴史をより包括的にとらえられる点にあります。

これまでに、全国で国指定史跡となつた江戸時代の古窯跡は5つありますが、以上のような特徴を持つ史跡は、波佐見だけと言えます。

なお、広報では11月号から今回指定された各遺跡をシリーズで詳しく紹介していきます。



指定 遺跡の概要	名 称	地 区	推 定 年 代	概 要
	①畠ノ原窯跡	村木郷	1610~1630	国内磁器生産開始期の窯
	②三股青磁窯跡	三股郷	1630~1650	国内有数の青磁を生産した窯
	③長田山窯跡	井石郷	1690~1740	18世紀代の青磁の動向を知る上で重要な窯
	④中尾上登窯跡	中尾郷	1640~1920	全長160m以上の規模を誇る世界最大級の窯
	⑤永尾本登窯跡	永尾郷	1660~1950	全長155m以上の巨大な窯
	⑥皿山役所跡	永尾郷	1660~1870	大村藩の窯業管理機関
	⑦三股砥石川陶石採石場	三股郷	江戸~昭和	磁器原料である陶石の採石場



②三股青磁窯跡



③長田山窯跡



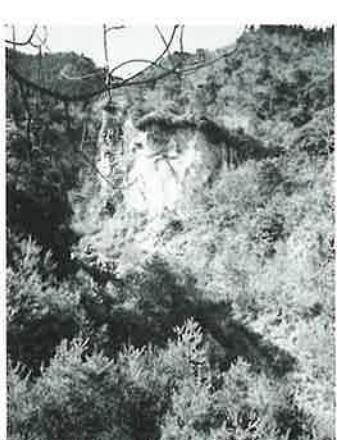
①畠ノ原窯跡



⑤永尾本登窯跡



④中尾上登窯跡



⑦三股砥石川陶石採石場

「肥前波佐見陶磁器窯跡」を、私たち町民の大きな誇りとして、また先人たちが残した偉大な足跡として、大切に守り後世に伝えていかなければなりません。

今後は整備を進めることによつて、ふるさとの歴史を伝える場や観光資源として広く活用されること、また、国指定史跡が、波佐見町そして波佐見窯業界を発展させる起爆剤になるよう期待も高まっています。

○意 義

今回の指定は、4百年に及ぶ波佐見焼の歩みが、わが国の歴史上非常に重要なものであると、国が高く評価したこと意味します。

全国にある30万か所以上の遺跡の中で、国指定史跡はごくわずかです。

平成11年度決算

町の財政のそこが知りたい

改善計画

町民のみなさんは、「町の財政は厳しい」という話を一度は聞かれたことがあります。

二十一世紀を目前に控え、町の財政事情はどうなっているのか、また、どのような対策を行っているのか、10・11月の2回にかけて、平成11年度決算（一般会計）をもとに説明します。

依存する財源

町の財源は、町民皆さんがあなめる町民税や固定資産税などに国の地方交付税や県からの支出金などを加えて成り立つます。

平成11年度決算では、図1

のとおりとなっていますが、全体の内、町へ直接納めてい

ます。

これを本町と人口や産業構造などが類似している他の町（類似団体といいます）では、42・5%となつており、他の町と比べ国や県に財源を依存する割合が高くなっています。

一般財源

これら全体の財源のうち、町が自由に使うことができる財源を一般財源といいます。

一般財源の内訳は、町税や

地方交付税が主なものです。

これに対し、国・県からの補助金や一定の目的のために積み立てられた基金など、使う目的が決められている財源を特定財源といいます。

地方債

町の行政サービスは、一般

財源と国・県の補助金などの特定財源を組み合わせて行っていますが、道路改良事業や建物の建築などの事業は、事業費が多額で実施する年度の収入だけで賄うことができません。

そこで、町は地方債という

借金をして事業を行います。

平成11年度は給食センター改築事業や西ノ原土地区画整理事業、道路改良事業のため

経常的経費

本町の行政サービスは、戸籍や福祉、教育、道路改良、災害復旧など幅広く行っています。

これらに使われる経費の中には、職員の人事費や事務経費、道路・学校など施設の維持修費、地方債の償還金（公債費）など毎年必ず必要な経費があります。

町が行政サービスを行う上で最小限に必要な経費のこと

を経常的経費といいます。

なお、毎年実施している道路改良などの建設事業は投資

的経費とし、経常的経費には区分しません。

経常収支

この経常的経費が一般財源（経常一般財源）に対して占める割合を経常収支比率といいます。

平成11年度決算の経常的経費の内訳は図2のとおりです。

この経常収支比率が大きくなると自由に使える財源を道路改良などに充てることができなくなり、まちづくりの経費が限られてきてしまいます。

この経常収支比率は町村では70%程度が好ましく、町の財政状況が健全であるとされています。

経常収支比率の推移は図3のとおりです。

経常的経費



図1 自主財源と依存財源

図2 経常経費の内訳 (%)

項目	波佐見町	類似団体
人件費	27.7	29.3
物件費	7.9	11.5
維持補修費	1.1	1.2
扶助費	3.9	3.0
補助費	13.5	15.0
公債費	21.5	15.4
繰出金	6.0	4.3
合計	81.6	79.7



財政構造

増加する公債費

公債費とは、過去に借入れた地方債の償還金のことです。お金を借りたら、返済するのには町でも同じです。

この公債費が近年増加傾向となつており、前に説明した経常的経費の内、年々大きな割合を占めるようになっています。

公債費の元になる地方債の借入残高の状況は図4にまとめてあります。過去10年間を見てみると、中央小学校建設、総合文化会館建設などの大型事業の実施により、残高が激増しています。これを本町と類似団体では比べてみると、類似団体では

図3 経常収支比率の推移

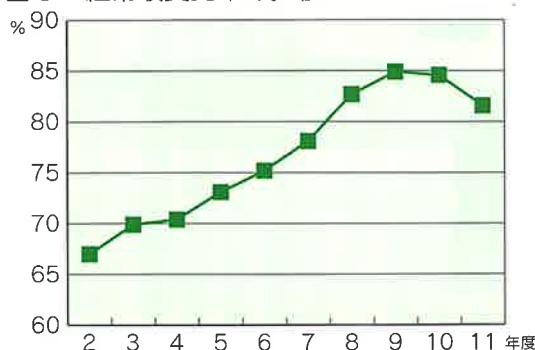


図4 地方債残高の推移

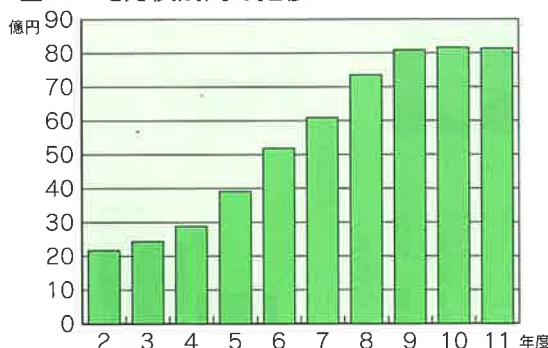
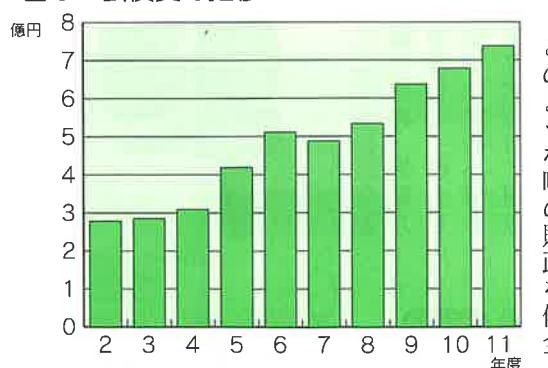


図5 公債費の推移



54億9400万円で本町が26億4200万円多くなっています。

この地方債については、借入年度によつて借入利率、償還年数、元金償還の据置期間がさまざまです。

特に据置期間が過ぎると、元金返済が始まりますので、借入れた数年後に償還金が増加し町の財政に与える影響が大きくなります。

現在本町は、過去の大型事業で借り入れた地方債の元金償還が次々に開始される時期となっており、公債費が増加する傾向となつています。これまでの公債費の推移は図5のとおりです。

厳しい財政運営

このように地方債の償還金が年々増加し、町の財政を圧迫しています。

社会資本などの整備により

町の住環境などは向上しまし

たが、それに伴い地方債残高

は増加し、経常収支比率は健

全とされる70%を超えて80%代

で推移しています。

また、町の収入も思うよう

に伸びない中、土地区画整理

事業等の大型事業をはじめ、

福祉対策、産業振興、道路改

良等、まちづくりの将来設計

に向か、厳しい財政運営を行

っています。

このような町の財政を健全

財政構造改善計画

この計画は昨年策定し、行政改革大綱と併せ既に実施をしており、平成12年度の予算から具体化しています。

予算は、町などの地方公共団体が自ら行う行政サービスの内容を表す経費の内訳で、毎年作成しています。

平成12年度の予算については、4月号の広報波佐見でお知らせしたとおりですが、この予算の編成については、各課・各担当者が、わが町の均衡のとれた発展をめざし、住民生活に密着したいいろいろな政策や事業を考えて予算を要求しています。

しかし、これらを全部やろうとすると町の財政は破綻してしまいます。

このため、この財政状況の中で健全化と併せ、町がやるべき重点政策はなにか、何を節約し、また改善できるもの

は何があるか、その具体的なルールづくりを定めたものが財政構造改善計画です。

化する計画が財政構造改善計画です。

この計画は昨年策定し、行政改革大綱と併せ既に実施をしており、平成12年度の予算から具体化しています。

予算は、町などの地方公共団体が自ら行う行政サービスの内容を表す経費の内訳で、毎年作成しています。

平成12年度の予算については、4月号の広報波佐見でお知らせしたとおりですが、この予算の編成については、各課・各担当者が、わが町の均衡のとれた発展をめざし、住民生活に密着したいいろいろな政策や事業を考えて予算を要求しています。

しかし、これらを全部やろうとすると町の財政は破綻してしまいます。

このため、この財政状況の中で健全化と併せ、町がやるべき重点政策はなにか、何を

節約し、また改善できるもの

は何があるか、その具体的な

ルールづくりを定めたものが財政構造改善計画です。

次号11月号では財政構造改善計画の具体的な検討事項や実施内容についてお知らせします。

学校紹介

南小学校

創意・創造で楽しい『楽校づくりを目指して』

南小学校では、さまざまな教育活動を通しての『心づくり・人間関係づくり』・『地域に開かれた学校づくり』を目指し、教師・児童・保護者の方々、そして地域が一体となって创意・創造し、『楽校』づくりの教育を推進しています。

おじいちゃん・おばあちゃんに
元気を届けよう



いろいろ教えていただきました。

今年度も総合的な学習の一環として、**地域の老人会の方々との交流活動**を進める中で、「ふれあい集会」を実施しました。

児童会が中心となつて全校で取組み、今年度は昔遊びの道具作製や遊びの活動に加えて、高学年による遊びの模擬店での活動も加わり、楽しい時を過ごすことができました。今後も、この活動を広げ、温かい心づくり、人間関係づくりの教育を進めたいと思います。

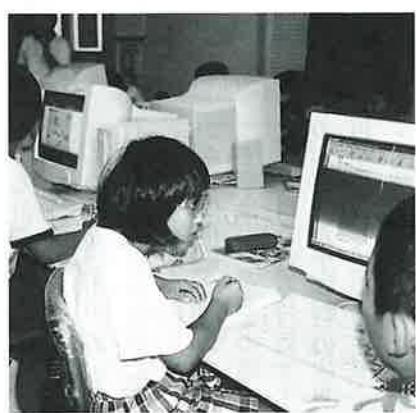
明るく、元気に
あじわい活動の実習



今日も元気に登校！

やきもの作りには毎年取組んできましたが、今年度はそれを更に一步進め、4年生では**陶石からの陶土づくり**、5年生では**窯業技術センター**のご協力も得て、初めての白磁作りにも挑戦しています。その他、波佐見町の歴史探訪などにも取り組んでいるところです。

輝く瞳で
パソコン学習



子供たちはパソコンでの学習が大好きです！

昨年度の2学期から導入されたパソコンを積極的に活用した授業を行ない、特に社会や理科学習、総合的な学習の時間においてはインターネットを利用した情報収集活動等に取組み、視野を広げ、関心を高めながら学習を深めています。



陶石碎きは大変でした！

「南小焼き石を発掘探索中！」

本校では、郷土に伝わる伝統的な文化・歴史への理解を深め、先輩方の実践を学ぶ活動を通して、郷土を愛し、ふるさと大切にする心情を育てようという伝統文化教育に重点を置いた総合的な学習を進めています。

やきもの作りには毎年取組んできましたが、今年度はそれを更に一步進め、4年生では**陶石からの陶土づくり**、5年生では**窯業技術センター**のご協力も得て、初めての白磁作りにも挑戦しています。その他、波佐見町の歴史探訪などにも取り組んでいるところです。



最優秀賞は中尾郷老人クラブ

花壇コンクール

平成12年度町花いっぱい運動
花壇コンクールの審査が、8月
31日に行われました。

コンクールは、毎年6月頃に
町・県から町内各地区の老人ク
ラブや緑の少年団に配布される
花苗と、各団体が購入した苗を
植栽し、育てられたものが審査
されます。

今年度の審査対象は25か所、
植え付け時期の天候不順のため
各団体とも苦労が多かったよう
ですが、発育はもちろん、配色
やデザイン、土の管理などが審
査のポイントとなりました。
審査員からは、「排水対策や病
害虫の駆除などを徹底すればも
っと良かったのでは」との講評
もあつっていました。

審査の結果、最優秀賞には、
中尾郷老人クラブの花壇が、優
秀賞には、岳辺田郷・金屋郷の
両老人クラブの花壇が、それぞ
れ選ばれました。
町内のほとんどの花壇は、各
地区的公民館や集会所など人の
出入りが多い場所にあり、訪れる
人の心を和ませています。



最優秀賞に輝いた「中尾郷老人クラブ」の花壇



▽「金屋郷老人クラブ」

△「岳辺田郷老人クラブ」

おいしいですよ
今年の波佐見梨

本町の特産品のひとつ「波
佐見梨」は、9～10月が出荷
の最盛期です。

町内では18戸の農家が5ha
の園地で栽培しており、山間
地である波佐見の梨はおいし
いと、常に高い評価を受けて
いますが、特に今年の梨は好
天に恵まれ、収穫量もさること
ながら、甘みが強くおいし
いと評判です。

品種では菊水、幸水、豊水、
新興は10月頃が食べ時。11月
には晩三吉という遅ものもあ
ります。

特に豊水や新興は、甘みが
強く口あたりも柔らかいとい
うことです。

今年の波佐見梨をぜひご賞
味ください。



最新ヘリも登場 大豆防除研修



9月5日、転作作物である
大豆の収量と品質を向上させ
るため、川内地区の大豆圃場
で病害虫防除作業の研修会が
約70名の参加で行われました。
農業共済組合と農業改良普
及センターとの共催によるも
の。

最新型の乗用管理機と無人
ヘリコプターによる防除の実
演もありました。

機械化や作業委託が進む農
業も、無人ヘリの防除では、
10haの圃場を2時間で終える
能力があり、また10ha当たり
3千円程度（薬代込み）の委
託料という高速性と経済性も
兼ね備えています。

折敷瀬老人クラブが奉仕作業



折敷瀬老人クラブは9月28日、総合文化会館や勤労者体育センター、教育委員会分室周辺の除草作業を行いました。

朝8時から会員約60人が参加。やや涼しくなったとはいえ、作業をすれば汗をかくほどの良い天気の中、2時間ほどで終了しました。

たいへんお疲れさまでした。
ありがとうございました。

新波佐見節を披露・目薬まつり

日蘭交流400周年記念として、毎週土・日曜日に各市町村の芸能を披露している日蘭まつりに、9月24日(日)波佐見町からは婦人会が「新波佐見節」で出演しました。

会場の出島伝統芸能館踊り広場(長崎市)に詰めかけた多くの人から、「皿もって踊ろう」の熱演に拍手喝采。2仙目には来場者の方も踊りの輪に参加していただき、使った皿はそのままプレゼントされました。



講演会 めじろ押し



家庭教育講演会

9月26日、町PTA連合会主催による家庭教育講演会が総合文化会館で開かれました。「笑いはたっぷり、駄はしっかり」と題し、落語家で教育評論家でもある桂文彌さんが講演。

『小さいときからの躾をしっかり。親がきっちと手本を示せ。我慢をさせろ。かわいかつたら叱れ。』など、さすが落語家と思わせる笑いを交えての貴重な講演でした。

おもしろ自然学教室



9月27日には、波佐見・緑と水を考える会の主催による“おもしろ自然学教室”も開催されました。

「ようこそ田んぼの学校へ」と題し、宇根豊さん（農と自然の研究所代表）の講演会があり、普段はなかなか気づかない田んぼの大切さやおもしろい自然の話などについて講演されました。

同会では、10月12日にも河川環境講演会が開催されました。



本山 莉可子ちゃん
(乙長野郷)
H 11. 9. 20生まれ
真一郎さんの長女
加奈子

これからも
元気いっぱい
遊ぼうね

よい子 つよい子 元気っ子

このコーナーでは、満1歳前後の子どもさんを募集しています。掲載希望の方は役場総務課広報担当まで連絡してください。

井石 里奈ちゃん
(宿郷)
H 11. 9. 30生まれ

正文 元美さんの三女

元気で
明るい女の子に
育ってね



25周年記念 ナイターダ運動会 南地区スポーツ会

南地区スポーツ会は設立25周年を記念し、会員総出による大運動会を9月2日(土)の夕方から鴻ノ巣グラウンドで開催しました。何かと忙しい壮年層、10種目の競技に普段ない賑わいを見せていました。

特に20人21脚走では、どのチームも日ごろのスポーツ活動の成果と懇親会で培ったチームワークの良さを披露し好タイム続出でした。

また、テレビでお馴染みの未成年ならぬ『壮年の主張』では、日ごろのうっぷんを大声で晴らすなど、会場を笑いの渦に巻き込み、楽しい夕暮れ時を過ごしました。



「はあとめ～る」を小学校に寄贈

波佐見ライオンズクラブでは、9月2日、町内各小学校へ「はあとめ～る」2,125枚を寄贈しました。

今回の寄贈で12回目となります。

「はあとめ～る」は、子どもたちが心のこもった温かいお便りをお年寄りあてに出す習慣を広め、世代をこえた交流を図ることが目的で、敬老の日にちなんで発行されているものです。

学校には専用の臨時ポストも置かれ、13日には郵便局員が回収し、14日から配達されました。



残暑まだつづきて秋の待たるるも
台風だけは来て欲しくなし

盆が過ぎ秋の気配を連れてくる
涼しさ添えて夕暮れの風

活花に青き実のなるかから蔓
そこはかとなく秋の訪れ

盆過ぎて涼風わたる夕まぐれ
秋を呼ぶことクツワ虫鳴く

流れゆく雲早や秋の風

出穂の田の上を飛ぶ赤とんぼ

田の面飛ぶ精霊とんぼは立秋を
過ぎて最後と何度も廻る

無縁墓地自生のコスモス咲き乱れ
誰が詣りしか線香匂う

在りし日を偲びて流す精霊船
水面にうつる灯の影ゆれる

山口 笑子
川島 竹信

(波佐見短歌詠会)

本山 茂
山口 信男
星野 愛子
高尾 肇
入江 リキ
田崎ツネ子

短

歌

病気一口メモ

その171



胸

や

け

東彼医師会

中村祐二（波佐見町）

胃から胸骨にかけたあたりが、何となく焼けるような感じがする、人によっては胸が苦しいと感じる、同時に酸っぱい物が胃から上がってくるような感じ（呑酸）を伴います。

以前は消化器の不定愁訴の一症状と考えられていましたが、最近では、胃・食道逆流症の主要症状であることがわかつています。

なぜ胃液が逆流するのかといふと、多くは年齢とともに噴門部がゆるくなつてくるためです（下部食道の括約筋の働きの低下）。

食道の蠕動運動の低下や、胃排出能力の低下による胃内容の停滞も原因の一つです。もう一つの理由は肥満です。太ると、腹圧によつて胃酸が上がつてしまやくなるのです。胸やけを起こす病気としては逆流性食道炎、胃・十二指

腸潰瘍などがあります。逆流性食道炎は、胃液などが食道の中を逆流することにより、食道の粘膜が溶かされ炎症を起こした状態になる病気です。

胃袋は酸がいつもあるからそれに備えて粘液で壁を防御していますが、食道はあまり酸に強くありません。そのため逆流してくると粘膜が溶かされて炎症を起こします。

胃・十二指腸潰瘍は、ある種の菌やストレスなどが原因となります。胸やけに加えて胸痛がある場合には、狭心症などの虚血性心疾患も考えられるので心電図などの検査も必要になります。

胸やけの予防として食生活上の注意は、まず脂肪の多い食物は胃の中に長く残りやすいので控えめにします。

またアルコール、コーヒー、香辛料等の刺激物は胃液の酸度を抑える薬なども必要になりますが、専門医の診断を受けてください。

健康テレホンプログラム
佐世保市 23-4300

10月

- 月 電磁波が体に与える影響（特に携帯電話）
- 火 脳梗塞の前ぶれ
- 水 美容脱毛について
- 木 いびきの手術
- 金 すぐに「キレル」子ども
- 土 外陰部のかゆみ

11月

- 月 心房細動～脈のみだれ
- 火 骨粗鬆症の予防
- 水 成長期のスポーツ障害 その①
- 木 赤ちゃんの皮膚腫瘍 その①～赤あざ
- 金 入れ歯安定剤の効用
- 土 ぼうこう癌

*祝祭日は前日のテープが流れます。

めざせ「健康日本21」



こんなにちは栄養士です

いた「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」を推進しています。

特に食生活は、多くの生活習慣病の発症との関連が深く、子どもの頃から正しい食生活の理解と望ましい習慣を身につけることが重要であることから、本年3月には文部省、厚生省及び農林水産省において、新たな「食生活指針」が定められました。

健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現をめざし、みんなで健康づくりに取り組みましょう。

食生活改善普及月間
平成12年10月1日～31日

『楽しく！健康への食卓』
(統一標語)

スポーツ

波佐見勢 3連覇達成!

■総合成績

- ①波佐見町
- ②川棚町
- ③東彼杵町

■種目別成績（総合のみ）

▲ソフトボール

- ①川棚町②東彼杵町③波佐見町

▲軟式野球

- ①東彼杵町②波佐見町③川棚町

▲ソフトテニス

- ①波佐見町②東彼杵町③川棚町

▲剣道

- ①東彼杵町②波佐見町

▲卓球

- ①東彼杵町②川棚町③波佐見町

▲少林寺拳法

- ①波佐見町②東彼杵町

▲バスケットボール

- ①川棚町②波佐見町

▲バドミントン

- ①川棚町②波佐見町③東彼杵町

▲サッカー

- ①川棚町②波佐見町

▲テニス

- ①波佐見町②川棚町（同点）

▲ゲートボール

- ①東彼杵町②川棚町③波佐見町

第47回東彼杵郡民体育大会

今年はソフトボールをはじめ11の競技に3町で712名が、本町からは251名が参加し熱戦が繰り広げられました。

3大会連続の総合優勝を狙う波佐見町は、1ポイント差ながら連覇を達成しました。

また開会式では、指導や育成に功績のあつた体育功労者の表彰も行われ、本町からは、少年剣道の長與重俊さん（協和郷）と軟式野球の平野英延さん（乙長野郷）が受章されました。



長與さん 平野さん



堂々入場の波佐見町選手団

町民野球大会



平成12年度町民野球大会が9月3日、鴻ノ巣グラウンドで開催されました。

地区や職場から出場した15チームがトーナメントで争い、接戦の末宿チームが優勝を勝ち取りました。

県展に5人入選 デザイン部門は初

波佐見高校だより（Vol.14）

平成12年度の第45回県展のデザイン部門で3名、工芸部門で2名の入選を果たしました。入選は4年連続で、5名入選は過去最多です。

それぞれ日々の取り組みの成果を示す力作ぞろいで、独特の技法や若い感性で制作した作品が評価されました。

入選した5名の内2名は1年生で、県展入選の最年少でした。

県展のデザイン部門には、本校に4月に赴任した山下常子先生の指導により、陶芸デザインコース生徒としては初入選は立井匡樹先生は、工芸部門で昨年度の県知事賞に続き今回も特別賞を受賞しました。

△工芸部門入選作品



デザイン部門入選作品



入選の5人と立井先生、山下先生

はさみ 炎 まつり

11月 3(金) 4(土) 5(日)
やきものの公園

はさみ炎まつりは、みんなでつくる
みんなのまつりです。

参加して一緒に楽しみましょう！

☆ガレージセール出展者募集

◎1枠 2m×2m 1日 2,000円
3日 5,000円

◎希望多数の場合は抽選となります。

☆ボランティアスタッフ募集

まつりを成功させるために、ボランティアとして参加いただける方。

◎参加資格：16歳以上の方（高校生は親権者の同意を要します。）

◎主な仕事：会場の設営、管理、
ステージイベントの進行

出場者募集

☆アームレスリング（5日）

小学生の部（男子・女子）、一般女子の部、
一般男子の部

☆丸太早切り（5日）

☆赤ちゃんはいはいコンテスト（3日）

1歳前後の赤ちゃん集まれ

●事前の受付、当日の受付も可

この秋、はさみが炎える

『2000年はさみ炎まつり』が11月3・4・5日の3日間やきもの公園で開催されます。

昨年多くの来場者でにぎわいをみせた「波佐見焼400年祭・秋の陶器まつり」の成果を活かして、産地の振興と活性化を図ろうと、商工業はじめ各種団体の青年部層を中心に「はさみ炎まつり実行委員会」が組織され、陶器市をはじめ盛りだくさんのイベントを企画し、その取り組みが進められています。

今回は実質的な秋の陶器市の立ち上げとなり、商社、窯元が約50店、農産品などが20店、合計70店あまりの軒が並びます。

また、登窯や上絵窯の焼成・窯出し、ちゃわん感謝祭など多彩なイベントも予定されています。

実行委員会では町内外から多くの来場やイベントへの参加を呼びかけています。



盛りだくさんのイベント

3日	4日	5日	秋の陶器市
3日	4日	5日	ちゃわん供養感謝祭（茶碗有料交換会）
3日	4日	5日	陶婚式（結婚20周年記念ピアカッププレゼント）限定
3日	4日	5日	上絵薪窯焼成・窯出し即売会
3日	4日	5日	実演体験コーナー（鑄込み・ろくろ・絵付け）
3日	4日	5日	バザー各種（うどん・そば・農産物など）
3日	4日	5日	わいわいステージイベント
3日			大鍋（くらわんかだご汁500杯無料）
3日	4日	5日	登窯窯出しと展示即売会（焼成10/20～22）
3日		5日	やきもののせり市
		5日	はさみウルトラクイズ
		5日	もちまき

主 催 はさみ炎まつり実行委員会

問い合わせ先 波佐見町観光協会、波佐見焼振興会、波佐見町商工会

新米抽選券
10:30～くじ引き
現金賞としてみかん、又はお菓子（子ども）プレゼント

波佐見産黒毛和牛セット（1万円相当）が当たる！

第19回波佐見町農業感謝祭

とき：平成12年11月12日（日）9:00～
ところ：波佐見町農村環境改善センター



清流ほたる米

10:30～

みかん、お菓子のプレゼント



実演・試食

11:00～

農産物直売・焼き鳥・うどん他バザー

新鮮・安心・破格値ご奉仕

地元産和牛・野菜・茶・椎茸ほか

炭焼き実演

木炭や竹炭を焼こう

加工・料理部門

ホールに展示します

12:00～ 試食

bingo大会

先着100名

13:00 商品お楽しみ



キックターゲット大会

制限時間あり

10:00 商品お楽しみ

俵かつぎ耐久大会

10:45～

縄ない大会

11:15～

梅干サネ飛ばし大会

11:45～

カラオケ大会

12:00～

ビール早飲み大会

12:20～

※雨天の場合は、内容を一部変更しホールで実施します。

主催：波佐見町農業振興会

労働保険の加入はお済みですか

10月は「労働保険適用促進月間」です。

労働保険は労働者を一人でも雇用する場合、全て加入するよう法律で義務づけられています。

まだ加入がお済みでない方は、最寄りの労働基準監督署、又は公共職業安定所へおたずねください。

●問い合わせ先

佐世保労働基準監督署

☎ 24-4161

大村公共職業安定所

☎ 0957-52-8609



年末調整の説明会

所得税を精算する給与の源泉徴収の総決算ともいべき非常に大切な手続きですから、必ず出席してください。

●日時 11月21日(火)

13:30~

●場所 総合文化会館

●問い合わせ先

佐世保税務署 ☎ 22-2161

長崎県最低賃金の改正

長崎県で働く全ての労働者に適用される「長崎県最低賃金」は、

平成12年10月1日から

日額 4,797円

時間額 600円

となります。

くわしいことは、下記へ問い合わせてください。

●問い合わせ先

長崎労働基準監督署

☎ 095-846-6353

佐世保労働基準監督署

☎ 24-4161

高齢者と家族の悩みごと相談

高齢者とその家族の悩みごとにに関する相談（法律相談・一般相談）を次のとおりお受けします。

●日時 11月8日(水)

10:00~15:00

●場所 東彼杵町・むつみ荘

●相談員 (財)長崎県すこやか長寿財団専門相談員（弁護士）

●相談料 無料

●問い合わせ先

町社会福祉協議会

☎ 85-2240

役場福祉保健課 福祉係

☎ 85-2111

三股郷出身者集まれ

三股郷では、三股郷出身者による『えんち三股で一杯やろう会』を、平成元年以来10年ぶりに開催します。

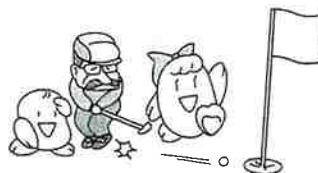
三股出身者はどなたでも結構です。多数ご参加ください。

●日 時 11月26日(日)

10:00~

●場 所 三股郷グラウンド

●内 容 グラウンドゴルフ
懇親会など



119番の日

11月9日は『119番の日』
火事、救急、救助での119番通報するときは次のことを正確に伝えましょう。

- 1 火事が救急か
- 2 所在地の地名、番地など
- 3 目標となる建物、バス停など
- 4 火災の場合は燃えているか、
救急は病人やけが人の年齢、
性別、患者の様子
- 5 あなたの名前と使用している
電話番号

※波佐見町からの119番通報は、
佐世保市消防局で受信しています。

佐世保税務署移転のお知らせ

佐世保税務署は、庁舎改築のため10月30日から仮庁舎で業務を開始します。

●仮庁舎の場所

〒 857-0058

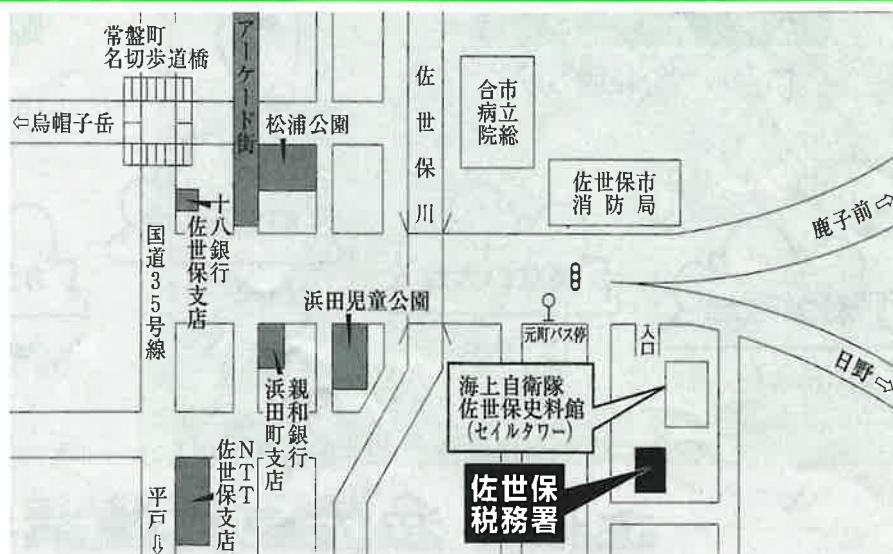
佐世保市上町114番地1
(佐世保市消防局前)

元町バス停から徒歩1分

●期間 平成14年4月まで

●問い合わせ先

佐世保税務署 ☎ 22-2161



イベント情報

第4回波佐見混声合唱団 定期演奏会

『いま、21世紀におくる うたを歌おう』

●日時 10月28日(土)
18:00開場、18:30開演

●場所 総合文化会館

●入場料 499円(小学生以上)

●チケットの求め先

総合文化会館、陶芸の館、
農村環境改善センター

●問い合わせ先

波佐見混声合唱団
野下 85-2891

☆プログラム

♪世界の歌めぐり

#賛助出演

生町ママさんコーラス「メリーママ」

♪青春歌謡

あの時代を忘れない

♪合同演奏

#合唱組曲「山に祈る」

『ベッカンコおに』 劇団えるむ公演

はさみ子ども劇場主催、第42回例会。

ベッカンコおにと目の見えない少女ゆきの、愛をうたう感動の舞台!

●日時 10月24日(火)
18:30開場、19:00開演

●場所 総合文化会館

●入場料等

新入会 入会金300円
十月会費800円

当日券 3,500円

●問い合わせ先 85-6489



総合文化会館 図書室だより

今月の新着本



魔剣天翔

森博嗣著

航空ショーでアクロバット演技中のパイロットが殺された。航空機は二人乗りで、後部座席に座っていたパイロットは背中から撃たれていた。同乗の女性記者に犯行は可能か。瀬在丸紅子が空中完全密室の謎に挑む。

釉薬に関して、実際の陶芸制作の体験を基に、学問的見地からの検討を加えてまとめる。76年初版発行時からの技術の発展を考慮し、釉薬の調合データについて必要な箇所の修正と新しいデータの補填を行った新版。



101個の金メダル

トランスフォーマー著

金メダル101個の顔ぶれ、オリンピックでの日本の足跡と活躍、日本が参加した大会金メダル&公式ポスター、アスリートインタビュー、記憶に残る名選手、日本のメダリスト一覧、当時の新聞報道などを満載。



ああ言えばこう行く
檜ふみ

阿川佐和子著
檜ふみ著

他人の不幸ほど、愉快くて愛しいものがこの世にあるんだろうか。女同士の辛辣なやり取りに一度染まつたら、もうやめられない。阿川佐和子と檜ふみの抱腹絶倒の往復エッセイ。『LEE』連載。

秋の火災予防運動

今年も秋の火災予防運動が11月9日から15日までの7日間実施されます。

火災が発生しやすい気候となるこの時期に、火災予防思想の普及と徹底を図り、火災の発生を防止することを目的としています。

●重点目標

- ①住宅防火対策の推進
- ②放火火災予防対策の推進
- ③地域における防火安全体制の充実

火災原因では、たばこ、ガスこんろ、たき火、放火が上位を占めています。注意しましょう。

●全国統一防火標語

『火をつけた
あなたの責任
最後まで』

町の事業

◎9月に発注した事業です。

《事業費100万円以上》

▶町道永田線道路改良工事

263万円 (株)成富建設

▶町道川内本線道路改良工事

389万円 (株)小佐々建設

▶町道濁渕線污水管渠布設工事

3,255万円

高瀬・山栄建設工事共同企業体

▶鹿山地区污水管渠布設工事(1工区)

1,502万円

山口組・松下建設工事共同企業体

▶鹿山地区污水管渠布設工事(2工区)

1,838万円

平山・執行建設工事共同企業体

▶西ノ原土地区画整理事業補償調査業務委託

126万円 (株)中庭測量コンサルタント

▶西ノ原土地区画整理事業・24街区整地・9-6区画道路・区画外道路工事

1,103万円 (株)山栄建設

▶西ノ原土地区画整理事業・仮設道路建設工事

1,365万円 (株)山口住建工業

▶湯無田浄水場ろ過池水位計取付工事

399万円 隔測計装(株)北松営業所

▶皿山地区簡易水道水源開発工事

998万円 (株)親和テクノ

マイケルです 1年間よろしくお願ひします



波佐見に来られてとても嬉しいです。波佐見高校と波佐見中学校で楽しく英語を教えています。

波佐見でたくさん友達をつくりたいと思います。また、波佐見焼にも興味がありますので、やきものづくりにも挑戦してみたいと思います。

そしてアメリカに美しいお土産を持ち帰りたいと思います。

平成12年度の新規ALT(外国語指導助手)として7月から波佐見高校に赴任されています。

マイケル ジェファーズさん
(Michael Jeffers)

23歳
アメリカ テキサス州出身

I am very happy to be in Hasami. I enjoy teaching English at Hasami High School and Jr. High school.

I hope to make many friends in Hasami. I am also interested in Hasami-yaki.

I would like to try to make Hasami-yaki, as well as to bring many beautiful souvenirs back to the U.S.A.



田崎信吉さん



八並信さん

教育委員に田崎信吉さん（再任） 八並信さん（新任）

このほど町教育委員の改選が行われ、稗木場郷の田崎信吉さんと志折郷の八並信さんが議会の同意を得て、10月1日付けで選任されました。田崎さんは平成8年から2期目にあたられ、八並さんは新たに就任されました。任期は4年で、それぞれ本町教育行政の発展のためにご尽力いただきます。

窯業技術センターNEWS

Volume
030

デザイン通信 ーその⑥ー^{【透光性照明具が国際デザインセンター賞を受賞】}

全国の陶磁器をメインにした公設研究機関の活動を紹介する「陶&くらしのデザイン展2000」が、8月8日からの岐阜展を皮切りに、北海道、名古屋、瀬戸、信楽、常滑、四日市と巡回しながら開催されています。

主な展示物は、生活用品のデザインや新たに開発された技術的成果で、当センターからは、透光性素地を利用した照明具を出品したところ、国際デザインセンター賞を受賞しました。

受賞作品は、センターロビーの展示コーナーに並べておりますので、一度ご覧ください。

【おしらせ】長崎県窯業技術センターの一般公開

昨年に続き、当センターでは11月22日(水)を一般公開日とし、展示や実演、体験コーナーなどを設けて開放しますので、見学などこの機会をご利用ください。



■陶&くらしのデザイン展2000(名古屋展)



■一般公開風景(平成11年度)

CRCN

窓の善意



戶籍

お誕生日おめでとう

(敬称略)

以上の方々から寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

総合文化会館図書購入寄付金
香典返しにかえて
宿 郷 池田 力 様

以上の方々から本町福祉事業資金に寄付していただきま
した。
それぞれの寄付に対し厚く
お礼申し上げます。

お見舞い返しにかえて
村木郷 廣田 周子 様
鬼木郷 川崎 ミセ 様
金一封

新編夷語

福田 添 惠子 賢吾
福田 福田 喜文
南部 真由美
山道 繁
川棚町 湯無田郷
中本 奈美葉
田端 修二
愛子
佐世保市
佐世保市
乙長野郷
志折郷
志折郷
志折郷
川棚町 湯無田郷

人のうごき (9月末)

人 口	15,765 人	(- 8)
男	7,501 人	
女	8,264 人	
世帯数	4,462 世帯	(+ 3)
転入	30 人	
転出	44 人	
出生	16 人	
死亡	10 人	
		() は前月比



休日当番医	10月 15日	小鳥居	病院	(波佐見)	85-3408
	22日	田渕	医療院	(川棚)	82-2111
	29日	中村	内科	医院(波佐見)	85-7325
	11月 3日	鈴木	病院	(東彼杵)	0957-46-0145
	5日	松尾	医	院(波佐見)	85-2001
	12日	山川	医	院(東彼杵)	0957-46-0020
	19日	坂口	医	院(波佐見)	85-3000
	23日	岡部	内科	医院(川棚)	82-5005
	26日	蓮輪	診療所	(波佐見)	85-5221

高齢者の交通事故防止に関する決議

東彼杵郡内では6月末現在、重傷事故が12件発生しており、うち6件が高齢者の運転によるものでした。

このため川棚地区交通安全協会と川棚警察署から、家庭・地域・職場における「事故防止」を図るため、町議会に対して決議の要請がありました。

これを受けて町議会では、9月12日「高齢者の交通事故防止に関する決議」がなされました。

以下決議文一部抜粋

【私たちの願いは、「安心で住み良い町」「社会的弱者や高齢者が安全で安心して暮らせる町」をつくることあります。

町民一人一人が交通の基本ルールを守り、周りの運転者が高齢者に対して思いやりの運転と、高齢者が安心して活動できる道路環境の整備が望まれるところであります。

こうしたことから、我々波佐見町議会は町民とともに「高齢者の関係する交通事故の防止と高齢者に優しい交通社会を作り上げる」運動を幅広く展開していくことを決意し、ここに決議するものである。】

波佐見町議会

